

互助やまがた

69

平成30年
10月25日発行

編集・発行／一般財団法人 山形県教職員互助会 〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号（山形県教育庁福利課内）TEL023-631-5115
印刷／株式会社 大風印刷



戸沢村 舟下り

CONTENTS

- 退職互助部特別加入者の概要・平成29年度退職互助部決算状況……………1
- 平成30年度退職互助部支部総会・健康増進事業・制度説明会開催状況 ……2
- 支部だより……………3～6
- 会員だより……………7～10
- 施設利用補助事業・法律相談事業……………11
- スキーの集い……………12
- スポーツ観戦補助事業 ……13
- 芸術鑑賞補助事業 ……14
- 療養補助金の請求はお済みですか？……………15

お申込み
お問合せ

一般財団法人山形県教職員互助会 厚生担当

ホームページ <http://www.yamakyogo.or.jp/>

〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号(山形県教育庁福利課内)

TEL 023-631-5115 FAX 023-624-1700

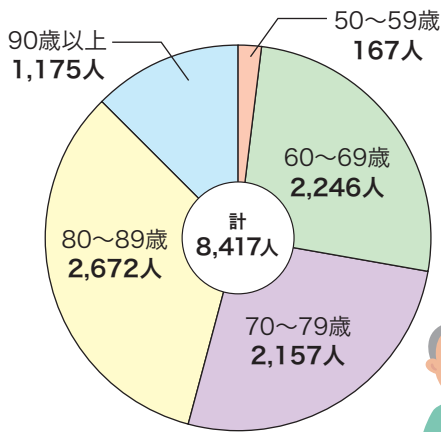
※平成30年11月3日は県庁舎停電のためFAXの受信ができませんのでご注意ください。



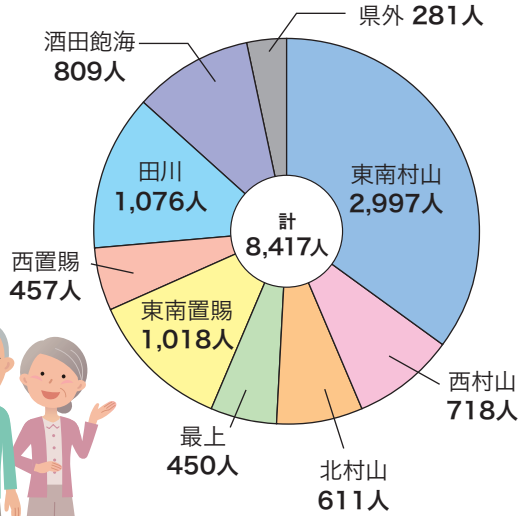
退職互助部特別加入者の概要

●退職互助部特別加入者の構成は次のとおりです。
(平成三十年九月末現在)

年代別人員構成



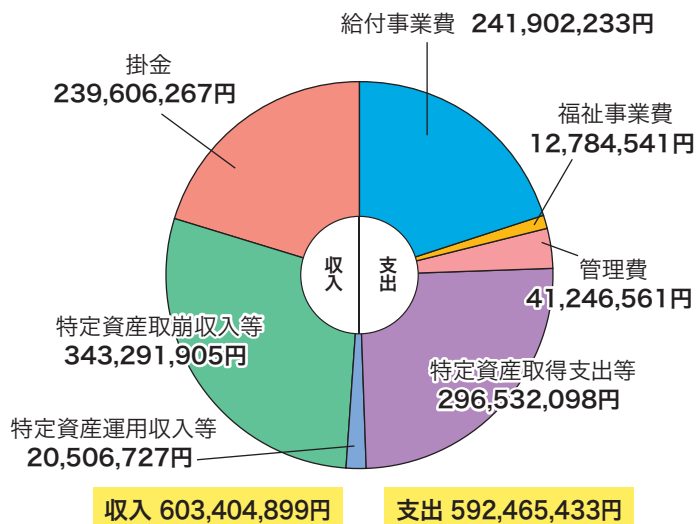
地区別人員構成



退職互助部經理の収支状況

現職者掛金、退職者掛金及び配偶者掛金並びに給付基金積立資産等の運用収益により、事業を実施しました。事業は、療養補助金、脱退一時金、長寿祝金等の給付事業及び健康増進事業、施設利用補助等の福祉事業を前年度に引続き実施しました。

その結果、給付基金積立資産総額は14億9,457万1,900円となりました。



※特定資産…給付基金積立資産、脱退一時金引当資産等

◆給付事業

科目	金額 (円)	備考
療養補助金支出	85,021,500	医療費の一部を補助 16,324件
脱退一時金支出	139,138,699	
弔慰金支出	5,539,952	
献花料支出	2,302,082	特別加入者が死亡したときに給付 309件
長寿祝金支出	9,900,000	米寿を迎えた特別加入者へ給付 330件
計	241,902,233	

◆福祉事業

科目	金額 (円)	備考
互助やまがた発行費支出	973,200	年2回発行 (4月・10月)
施設利用補助費支出	3,702,000	県内26施設 1,851件
電話相談費支出	74,258	フリーダイヤル通話料
新規特別加入者説明会費支出	44,720	県内4カ所で開催
健康増進事業費支出	3,447,960	ゴルフの集い、トレッキング等
健康診断補助事業費支出	3,351,809	新規特別加入者を対象に受検費用補助
研修旅行費支出	1,190,594	各支部で実施する研修旅行費
計	12,784,541	

平成二十九年度 退職互助部決算状況

支部	開催日	会場	講演・アトラクション
東南村山	6月27日	ホテルメトロポリタン山形	アトラクション 「二胡とピアノの演奏～琴線に触れる哀愁の音色～」 二胡 岩淵時和 氏 ピアノ 鎌上留美 氏
西村山	8月22日	ホテルサンチェリー	演奏会 「トリオ・アラモーレのクラシック演奏会」 ソプラノ 高橋まり子 氏 チェロ 増川大輔 氏 ピアノ 須藤恵美子 氏
北村山	9月1日	花の湯ホテル	演奏会 「第1部 歌う喜び・第2部 男声合唱の響き」 北悠合唱団 フリージア
最上	6月13日	大地会館	講話 諸事情により中止
東南置賜	8月31日	熊野大社證誠殿	研修会 民話口演 講師 民話会ゆうづる 副会長 白岩けい子 氏
西置賜	9月6日	パレス松風	講演 「保養から見える、福島いま」 講師 保養コーディネーター&詩人 関久雄 氏
田川	9月7日	東京第一ホテル鶴岡	講演会 「鶴岡から創るニッポンの未来」 講師 慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長 富田勝 氏
酒田飽海	7月17日	若浜学区コミュニティ防災センター	研修 「70歳からの療養補助金の請求方法・高額療養費制度」 「支部からの質問及び要望事項について」

平成三十年度の退職互助部支部総会の開催状況は次のとおりです。各支部ともたくさんの方のご出席いただきました。

平成三十年度 退職互助部支部総会開催状況

平成30年度 退職互助部健康増進事業開催状況

ゴルフの集い	鶴岡市の湯の浜カントリークラブを会場に開催。天候に恵まれ、良好なコンディションでプレーすることができました。(開催日:6月18日)
鳥海山トレッキング	1日目は遊佐鳥海観光協会登山ガイドによる講話を受講し、2日目は早朝から気温が上昇するなかでの鳥海山への出発となりました。登山口の気温は若干下がったものの、大量の汗をかきながら登ることとなり、非常に体力を消耗するトレッキングとなりました。今年は高山植物があまり見られませんが、快晴だったこともあり、見晴らしが良く、遠くの景色まで眺めることができました。(開催日:7月30~31日)
スポーツ観戦補助事業	「モンテディオ山形」、「東北楽天ゴールデンイーグルス」の観戦チケット代金の一部を補助し、チケットを斡旋しました。(開催日:7月、8月)「パスラボ山形ワイヴァンズ」、「プレステージ・インターナショナルアランマーレ」の観戦チケットも募集します。詳しくは13ページをご覧ください。
芸術鑑賞補助事業	山形交響楽団 定期演奏会等のチケット代金の一部を補助し、チケットを斡旋しました。(開催日:8月11日)今後の募集について、詳しくは14ページをご覧ください。
	松竹大歌舞伎 山形市民会館主催事業「松竹大歌舞伎」のチケット代金の一部を補助し、チケットを斡旋しました。(開催日:7月12日)
	美術館等 山形美術館・天童市美術館・酒田市美術館・土門拳記念館・致道博物館・米沢市上杉博物館の会員証の年会費の一部補助を行いました。(今年度の募集期間は終了)
生涯学習サポート事業	NHK学園で実施する生涯学習通信講座(パンフレット記載講座のみ対象)を受講する際の受講料の半額程度を助成するものです。たくさんの方々にご活用いただいています。パンフレットは互助やまがた68号(4月28日発行)に同封していますが、必要な方は本会までご連絡ください。なお、募集期間内であっても補助額が同事業予算額に達した場合は募集を打ち切りますので、予めご了承ください。(募集期間:5~12月)

平成30年度 退職互助部制度説明会開催状況

新規特別加入者等を対象に療養補助金の請求方法を中心とした退職互助部制度説明会を開催しました。

開催日	会場	参加者数
6月5日	新庄市「最上広域交流センター ゆめりあ」	11名
6月7日	三川町「三川町公民館」	19名
6月20日	米沢市「伝国の杜 置賜文化ホール」	29名
6月25日	山形市「山形国際交流プラザ」	57名

支部だより

東南村山支部

今年度の東南村山支部は、米寿会員九十六名を教え、また、新入会員八十三名をお迎えし、総数二千八百六十八名の支部となっております。

支部総会並びに懇親会は六月二十七日、ホテルメトロポリタン山形で行い、百八十二名の出席を得て開催されました。樋口正昭地区幹事を議長に選出し、協議が行われました。二十九年度の事業並びに会計報告、そして三十年度の事業計画並びに予算案が審議され承認されました。

また、今年度の支部の喜寿者は昭和十七年四月二日より十八年四月一日生れの方で、今年九十一名の方がおられます。この方々への「喜寿を祝う会」は九月二十六日、同じ会場にて行うため、現在諸準備を進めております。

支部だより「互助東南村山」も第六号を教え、より一層、会員との交流を図るために「特集」を組み、紙面を二ページ増やして発刊する予定で編集を行っています。

総会後に昨年度までは米寿を迎えた方への「長寿祝金贈呈式」を行っていましたが、本年度より長寿祝金が振込方式に変更になり贈呈式は割愛となりました。しかし、今年度は懇親会の席にご招待申しあげ、十九名の方から出席を賜りました。お名前を紹介し支部長よりお祝いの言葉を申しあげ、米寿者を代表して松井知子様より「ごあいさつ」を頂きました。皆様方は本当にお元気で、逆に私達が元気を貰った感じになりました。今年のアトラクションは「二胡と



ピアノの演奏」として山形市在住の岩淵時和さんと鎌上留美さんにお願ひし、琴線に触れる哀愁の音色と題して行われました。本当に胸に染み入るような音色で、中国本場の楽曲をはじめ、西洋のハンガリアン舞曲、朝ドラのテーマ曲など幅広いジャンルで会場を盛り上げて頂きました。参会者からは、しつとりとした音色に感銘を受けたと大好評でした。

懇親会は長谷川美代子地区幹事の開会の言葉、窪田裕司地区幹事の乾杯の発声が始まりました。多くのテーブルで久しぶりの再会に話題が盛り上がり、終始和やかな中での懇談会になりました。毎年、この会に出席するのを楽しみにしているという方も多く、更に充実した会になることが求められているものと思われました。最後に小和田久子地区幹事の閉会の言葉で散会しました。

本年度の支部役員名、地区幹事名は、同封の「互助東南村山第六号」に特に増ページし町区割も掲載しましたので、ご覧下さい。

西村山支部

今年度の西村山支部は、米寿会員二十五名、喜寿会員二十六名、新入会員二十七名、総勢七百二十名でスタートしました。

支部では会員相互の交流と親睦を深め、健康と福祉の増進を目的として支部の活動を行っています。八月に開催する年一回の演奏会・親睦会は会員が特に楽しみに待っている事業です。

今年度も寒河江駅近くにあるホテル・サンチェリーを会場に総会・演奏会・親睦会を開催しました。

参加者は五十六名、米寿・喜寿の方八名に参加していただきましたが、新会員の参加者はありませんでした。新会員の方にとっては再雇用や年金の問題もあり、平日開催では参加しにくい状況になってきているようです。

総会では事業の報告・計画、決算・予算が承認され、賀寿者の方からは健康の秘訣や元気な「ごあいさつ」をいただき、参加者全員が元気をいただきました。

今年度のアトラクションとして『トリオ・アラモール』の三名の皆様による演



奏会を開催しました。懐かしいクラシック映画音楽、『空よ』『川の流れるように』等の歌謡曲、そして、昭和のテレビ番組メドレー等、私達にとっては懐かしく忘れられない歌を演奏していただきました。親睦会では、美味しい料理に舌鼓を打ちながら、健康な体づくりやボランティア活動、孫の話等、近況や懐かしい思い出話に花が咲き、みんなの笑顔がとて素敵な時間となりました。

支部だより

北村山支部

米寿会員三十一名・喜寿会員十七名・新入会員十五名の総勢六十名でスタート。会員相互の連絡と親睦及び福祉の増進を目的にし、事業に取り組んでいます。

恒例の総会・研修会・親睦会を九月一日、東根温泉「花の湯ホテル」で開催しました。

総会には、長寿会員四名と新入会員二名を含め六十八名の出席があり、事務局としての目標を達成することができました。

研修会は、北悠合唱団「フリージア」にお願いしました。この合唱団(団員数十三名)には、大乗支部長をはじめ十名の支部会員が所属。親近感を抱きながら、男声合唱の勇壮で響きのある美しい歌声を鑑賞しました。

親睦会には、五十四名の会員が参加(昨年は四十三名)。思い出や近況を語り合いながら、異世代間の交流を深めることができました。今年喜寿を迎えられた先生に万歳三唱のご発声をお願いしたところ、「親睦会がこんなに楽しい会であるとは思いませんでした。来年度も、ぜひ参加したいです。」という感想がありました。



した。参加者が増えていくような手立てを今後も工面していきたいと思っています。

研修旅行は、「諸橋近代美術館見学と情熱のスパリゾートハワイアンズの旅」をテーマに、常磐ハワイ方面へ十月十二日にでかけます。最終日の九月一日には、四十二名の募集となりました。

役員は改選の年。支部長に大乗文利。副支部長に梶川英樹、羽賀芳幸、伊藤秀昭、石川佐紀子(新任)。事務局長に早坂重三。会計幹事に寒河江秀壽。幹事に金谷正実、井澤紀子、結城重敏(追加新任)、監事に芦野照雄、大山剛。十二名の役員と三十八名の班長が承認されました。写真は、研修会(公演会)の様子です。

最上支部

六月十三日、大地会館を会場に支部総会並びに祝賀親睦会を開催。高橋研最上教育事務所長の祝辞、城戸口一子県本部常務理事の互助会現状報告などの開会行事に続き、竹田眞一氏を議長に選出して総会。前年度活動報告と決算・本年度活動計画・予算・活性化事業計画が承認。役員は永年支部運営にご尽力の大類愛子、岸博、亀井忠義、荒木チヨエ、松田智尚の各氏が退任し部分改選(後掲)。同時進行で、療養補助金請求等の相談に高橋千春主事より対応して頂いた。

講話は前新庄市教育長・武田一夫氏より演題「堤林数衛を知っていますか?」を拝聴の予定でしたが、資料も準備して頂きながら、残念ながら諸事情により中止。来年に期待との声多数。

祝賀親睦会は、米寿をお迎えの齊藤昭吉様のご挨拶、一昨年米寿の阿部昭吉大先輩による『祝賀の司』の吟詠、青木誠氏の乾杯を号砲に、和やかに賑やかに交流を深め、黒澤修氏の万歳三唱で締めくくりました。

研修旅行は「わらび劇場『ミュージカル北前ザンブリーコ』観劇と角館地域に伝わる伝統料理を味わう旅」をテーマに九月十二日実施予定、有意義な旅になるに違いありません。



- ◇平成三十年支部役員(◎印新任)
- 支部長 小國 隆
 - 副支部長 巨勢 孝 五十嵐隆一
 - 支部監事 五十嵐彰一 須藤勝行
 - 事務局長 小関栄一
 - 事務次長 加藤岩雄(会計担当)
 - 幹事 井上五郎 荒木 勇
 - 齊藤道子 齋藤玲子
 - 酒井秀夫 青木智賀子
 - ◎小野早苗 ◎須藤信一
 - 阿部昭吉 後藤淑子
 - 栗田英男 ◎伊藤好子
 - 齋藤むつ子 阿部恵美子
 - 小林静子 門間今朝徳
 - 福田昌夫
- 地区委員
協力員

支部だより

東南置賜支部

今年度も、会員相互の連絡・親睦を図ることを重点にして活動しています。

八月三十日(金)には、南陽市の熊野大社「證誠殿」で、支部総会を開催しました。



総会では、通常の議題のほかに、役員改選が行われ、長い間、支部役員としてご活躍をいただきました。

「沖野政徳」「太田邦夫」の両氏が退任され、左下欄の役員が新たに選出されました。

最後に、山形県教職員互助会福利厚生主査の小田島雄氏より、退職互助部の事業実施状況について説明をしていただきました。

総会後には、例年実施している研修会を行いました。「民話会ゆるづる」の副会長「白岩けい子」氏を講師にお迎えし、「民話口演」をしていただきました。お馴染みの「鶴の恩返し」から始まり、お金に絡むとんち話など、置賜地区の中に語り継がれてきた民話をたくさんお聞きすることができました。

講師の柔らかな語り口が参加者

を引きつけ、聞いている誰もが民話の世界に引き込まれ、とても楽しい時間を過ごすことができました。

その後、米寿会員、喜寿会員、新入会員をお招きし、親睦会を行いました。

今後は、十月五日(金)に例年通り、飯豊町の白川荘を会場に、秋の一日研修を予定しています。会員の希望をお聞きしながら、いろいろな種目を考えています。

また、同じ十月下旬には、支部の活動の様子や会員からの寄稿を載せた支部だより「互助あづま」を発行する予定です。

支部役員

支部長	伊藤誠一
副支部長	猪口和男
監事	中野和栄
事務局長	安部光男
会計幹事	山口和夫
幹事	猪口和男(兼任)
	本間勝美
	高橋哲雄
	朽木慶一
	後藤善一
	清野和夫
	齋藤賢二
	高井雄司
	棚村順子
	廣居安子
	石川つぎ



西置賜支部

今年度は二十一名の新規加入者を迎え「会員相互の親睦を深め、会員福祉の増進を図る」ことを目的に例年通りの事業に取り組みます。

総会は、九月六日(木)白鷹町のパレス松風を会場に三十二名の出席者で開催しました。今年度は米寿を迎えた会員が十二名いますが、当日は二名の方が出席してくださいました。久しぶりにお元気な姿を拝見し、とても嬉しく思いました。また、新規加入者がお一人参加してくださったので全員の拍手で歓迎をしました。

総会では、初めに山口支部長の挨拶があり、その後、県本部の小田島さんより本部事業についてご説明いただきました。そして、齋藤直樹さんの議長で、規約改正顧問の設置・前年度事業報告・本年度事業計画・役員選出(補欠)を協議し、全て全会一致で承認されました。

総会後は研修会として講演会を開催しました。講師にはNPO法人ライフケア代表の関久雄氏を招き、「保養から見える、福島のいま」という演題で講演をいただきました。関氏は現在も二本松にお住まいですが、福島第一原発事故による放射能汚染を避けるためご家族は米沢市に避難されたままです。関氏自身は子どもを放射能から守る「保養事業」を佐渡ヶ島で展

開し「へつついの家」を運営しています。国は避難指示を次々と解除していますが、本当に安全になったのか、不安を抱えて暮らす福島の人々の現状と問題点を語っていただきました。

研修会の後には親睦会を開催しました。そして米寿祝いの方々にスピーチをお願いし、思い出話をしていただきました。昔の懐かしいお話に、参加者は頷きながら聞き入りました。とても和やかな楽しい親睦会になりました。

会員に人気の一日研修旅行。今年度は十月三日(水)に、研修会講師の関氏に案内をお願いして福島県を訪ねます。講演会でお聞きした現状を、直接目で見て肌で感じようというねらいです。

役員選出(残任期間)

幹事	鈴木正人(飯豊町)
顧問	益田敏夫(小国町)
時田進	



支部だより

田川支部

平成三十年度の田川支部は、総会員数1033名(新入会員25名、喜寿該当者31名、米寿該当者41名)となり、会員の健康と福祉の増進、相互の交流親睦を目的に活動を開始した。

本年度も支部総会と親睦会は九月に同日開催、会員多数の参加を得て東京第一ホテル鶴岡を会場に実施した。

また、総会後の講演会は、慶應義塾大学先端生命科学研究所の富田勝所長を招聘し「鶴岡から創るニッポンの未来」という演題でお話いただいた。

富田氏は、いま成長著しいバイオテクノロジーの分野で、日本をリードしながら活躍されており、当日のご講演では、研究の内容やその実用化について、鶴岡市の産業振興や人材育成などと関連させながらお話され、今後の地域の活性化などに多くの示唆をいただいた。

なお講演会については、地方紙に情報を提供し、一般の方々も入場できるように配慮した。



総会当日は、会員の療養補助金の請求手続きや日頃の悩みごと等について



相談できる『互助相談コーナー』を開設した。

会報『互助たがわ』は、会員の理解協力により、親しまれる紙面として第28号を発行している。

◇平成三十年度田川支部役員

支部長 齋藤英雄
副支部長 富樫良秋

支部監事 山田和子
事務局長 村岡 敏
幹 事 安野郁夫
佐藤健治
齋藤明夫
五十嵐昇

尾形庸子
鷺田啓一
柳澤 卓
石塚 健
坂本慶治
東野 彰
阿部美恵子
以上のほかに、各地区に41名の連絡員を選出し、支部運営に協力いただいている。

酒田飽海支部

今年度は新たに十一名の新会員が加わり、八百名弱の会員でスタートしました。会員相互の連絡、親睦と福祉の増進を図るために、四大事業として、班長会・総会・ハッピー光輝(喜寿祝い)の会・研修旅行を実施しています。円滑な支部運営を行うため、地区別に六十五の班に組織し、班長さんに協力をいただいています。

恒例の支部総会・研修・米寿祝賀新会員歓迎懇親会は、七月十七日に会員多数の参加を得て、若浜コミセンを会場に開催しました。

総会では事業・会計等、全ての案件が承認されました。研修では、県本部から療養補助金の詳細な説明や支部の要望・質問にお答えいただきました。また、五名の米寿会員と四名の新会員をお迎えし、懇親会では参加者の皆さんと共に大いに交流と親睦を深めました。(下写真)

毎年、会員の皆さんが楽しみにしている研修旅行。昨年は村上市を訪れ、大祭「おしやぎり」と町屋



屏風まつりやサケ文化(左下写真)の一端を見聞し、昼は四川料理を堪能してきました。今年は、河北町谷地の伝統産業と紅花文化を訪ね「最上そば道楽」の美味を楽しみ旅を計画しています。

◇平成三十年度支部役員◇

支部長 佐藤幸朗
副支部長 小野 勉
支部監事 池田誠晴
事務局長 池田公夫
幹 事 安藤宏和

土田 哲
柿崎玉樹
石黒誠一
山中義之
須階美代子
進藤聖子
清野 淳
佐藤由深子(会計担当)



深緑太極の集い

東南村山支部 菊地喜代一

七月二十九日(日)「深緑太極の集い」を開催。月山ブナ原生の森の深緑に心を寄せながら、健康太極拳(楊名時太極拳)を舞う集いである。

現在私は山形市内で、桜樹会、ジャバ教室、白鶴会、それに地元中山愛好会の四教室で健康太極拳を指導しているが、この集いは希望者を募って行ない、今年で五回目となる。

当日、朝七時三十分中山ライズヤマザワ集合、分乗して志津の県立自然植物園(ネイチャーセンター)へ。センター広場で太極拳を舞う。その後仲間のSさん(センターのインタープリター)の案内でブナ原生の森へのトレッキング。ブナの森広場で二回目の太極拳を舞う。下山途中沢の快い音を背に腹式呼吸で心を落ち着かせながら、五分間の立禅(立って行なう禅)。その後センターに全員無事着。記念に集合写真を撮った後、昼食会場の「道の駅にしかわ」(月山銘水館)へ。各自食べたものを注文し懇談しながらの自由昼食。食後の買物。十五時、ライズに着く。

台風十二号の影響で心配された天候であったが絶好の日和になり、ブナ原生の森からはすばらしい「気」をいただき、参加者同志の「和」を大きく広げることができた「深緑太極の集い」であった。みんなの顔は楽しさ充実感いっぱいになり溢れていた。

私が太極拳をやるようになった動機は、昭和五十四年に山形県教

員日中友好のつばさの一員として中国教育視察に参加させてもらった時、早朝

蘇州のホテルから見下ろすと多くの人がゆつたりと太極拳を舞っている姿を目にしたことである。退職した

年の十月から山形のNHK文化センターで稽古を積み十年かけて師範の資格をいただき現在に至っている。

健康太極拳(楊名時太極拳)は中国からの留学生、楊名時が中国の太極拳を元にしなが

ら日本でもつくり広めた太極拳で約六十年とまだ日は浅い。稽古は八段錦と二十四式を毎回繰り返し繰り返している。

自他の健康・幸せを求め、みんな仲よく和を広げ、世の中の平和を願う、いわゆる「健康・友好・平和」を理念としており、「がんばらない、無理しない」「競わない、人と比べない」「自分らしさを大切にす

る」ことを特色としている太極拳である。はじめて十九年、やればやるほど奥深くおもしろい。これからもいろいろな面から探究していきたく

と思っ



ウガンダ訪問記

北村山支部 齊藤 良子

思いもかけずアフリカ旅行の機会が舞い込んだ。娘さんが青年海外協力隊員として活躍する現地訪問の旅に、「一緒にどう？」と声をかけていただいたのだ。またとないチャンスに何はさておき、喜んで参加させていただくことに。

訪問団一行、約一日かけて赤道直下ウガンダの赤い大地に降り立つ。隊員たちの出迎えをうけ、一日目は全員で、二日目からは夫々の計画に基づく旅となった。私たちは教師経験者と言うことで、主に学校訪問を計画してくれていた。

早速、娘さんが懇意にしておられるキム夫妻の学校へ。幼児と小学校低学年の学校。午後遅くになっていたが、子供たちが歌・ダンス・聖書の暗唱等で歓迎してくれる。元気な声、明るい笑顔、膝を軽く折って握手してくれる女の子たちのしぐさが何とも言えず可愛い。

その晩、夫妻と一緒に夕食をと自宅に招待してくれた。韓国で会社経営をしていたが全て整理し、貧しくて学校に通えない子どもたちのために学校を作り、教育に身を投じておられるお二人。先生方への給料も周りの学校に負けてないと言う。どこからも援助を受けず、ただ韓国で医師をしている息子さんが彼らのスポンサーとのこと。「なぜそこまでして？」の問いに「神のお告げがあったのさ」と笑顔で話すご夫妻。

彼らの話にすっかり魅了され、誘いこまれる境地になったが、如何せん、アフリカは遠すぎた。

次の小学校訪問はあいにくの雨。「今日は欠席者が多いよ」との先生方の言葉通りで、四、五年生へと持参したはずの折鶴は全校生徒の手に。一年生から英語学習が行われ、英

語教育に力を入れている様子が伺えた。日本から赴任していた先生は現地なりの教育システムがあり、なかなか思い通りには行かないとちよつとだけこぼしていた。

別の学校ではトイレ後、足踏み式ペットボトルの簡易手洗器が大活躍。前任の日本の先生の置土産とのこと。現地の生活に役立ち、大切に使用されていることにうれしくなる。

そして彼女の職場へ。職員一人一人が彼女の働きに心からの感謝を述べていた。遠い異国の地にしつかり溶け込み、農業指導に尽力している彼女の姿が眩しく、日本人として誇らしくもあった。

採光の窓枠があるだけの校舎。幹線道路沿いを裸足で登校する子どもたち。帰国後、あの村人たちにせめて電気と水道が……と思っていた矢先、あの三・一一の大震災。私たちのこの便利で快適な生活は事故の後始末すら分からない物によつてもたらされていたのかと愕然とする。

一方、隣国まで続くりっぱな道路。すべて中国のお陰と言う。我が日本もアフリカへ目を向け始めたようだが、中国はもうとつと莫大な投資をしていたのだ！

街に溢れるたくさんの若者たち。豊かな生活を求め、みな必死になつていく。彼らの今後の発展を望みながらも、「地球は大丈夫？」と複雑な思いが過る。

お別れ会は新たに赴任するシニア協力隊員の歓迎会でもあった。日本を飛び出し、世界のために頑張る若者たち。あんな人は病院、学校、農村で……。退職後、持てる力を国際社会に役立てようと行動されるシニアの方々。彼らの生き方に感動し、羨ましくも感じる旅であった。

このような貴重な体験ができたことに、あらためて感謝したい。

奥の細道と四季感動のふるさとの美に魅せられて

東南置賜支部 沖津信也

今年は、猛暑に始まり、ここ置賜は降雨も少なく水不足であり、逆に西日本は豪雨と台風に見舞われた異常気象となりました。さらに、昨日は、震度7の北海道地震の大災害に見舞われ多くの人命が奪われました。異常気象や地震など、地震国の日本は、避けて通れない運命なのかもしれません。

このような歴史的な数々の災害や被災を体験し、先人は古来より助け合って生きていくことの大切さや慈愛や忍耐や協調や協同の人間性を伝えて、「生きる力としての文化」を築いてきたように思えます。そして、私自身も敬愛の恩人に支えられて生きています。

美術教師だった私は、大学卒業後、芸術院会員の菅野矢一先生に師事して油彩画を学び、最上川の源流の地から中流そして下流、日本海を巡り、風景画の取材を五十年にわたり継続してまいりました。羽黒山五重塔との出会いは、二〇〇〇年四月の上旬、新緑と残雪をバックに晴れ上がる朝もやに包まれた五重塔の荘厳な感動に満ちた出会いでした。続いて同年五月上旬の松山町眺海の森の最上川河口と日本海の夕日の運命の現場でした。まさに、巨大な竜が赤い太陽を目指して雄大に泳いでゆくようなダイナミックな光景でした。それは、全身に稲妻が走ったような衝撃の感動体験でした。以来、作品とは、「静と動、いずれかにせよ生きた感動体験が見る人の魂をとらえる衝撃波である。」と自分なりに悟った次第です。

そして二人目の恩人は、菅野先生ご逝去の後、中山忠彦先生との出会いにより、一水会をやめ、白日会展で活動することとなり改めて画学生に戻ったような猛勉強の連日です。さらに三人目の恩師は、芭蕉翁研究第一人者の梅津保一先

生との出会いです。江戸から結びの地の大垣まで画材用具を車に積んで家内と共に奥の細道の現場を取材して巡っています。取材の旅は、ハプニングの連続であり、笑いあり涙あり、喜びあり落胆あり、感謝あり感動ありです。そして旅先で出会った人と、日展や白日会展や銀座や三越や山形個展で再会できた時は、大きな感動となり絆も生まれました。

これまで芭蕉翁ゆかりの歴史的地点を制作してきましたが最近はその拠点を結ぶ「道」をテーマに描き、最近の日展には「ふるさとの早春の道」を制作して出品しています。もし、元禄二年の奥の細道の頃、現代のような防寒具があればきつと、好奇心旺盛な風流人の芭蕉翁は美しい残雪の山形県各地を旅して、数々の名句を読んだに違いありません。

いつも心に浮かぶ「学び舎への道」は、初任地の僻地四級の綱木分校への山道です。生徒への熱い思いとともに登った早春の山道が好きです。「人生まだ半ば。人生の魅力はこれから。」と思い、歴史的巨匠の葛飾北斎先生を仰ぎつつ、少年のような努力を重ねています。懐かしい皆様との再会と再会の一献が人生の喜びの糧と思ひ絵筆をとっています。



改組 新 第4回日展(2017) 晴れゆく峠 沖津信也

絵心をいつまでも

田川支部 堀 尚子

子どものころから絵を描くのが好きだった。終戦の時に国民学校二年生だったので、教室の壁には敵(アメリカ)の飛行機が撃ち落とされる場面など戦争に関する絵ばかり貼ってあった。そのころは絵を描くのはあまり楽しくなかった。

戦争が終つてまもなく、父の実家にお盆のお参りに行ったとき、きれいな挿絵のついた「小公女」の本を見せてもらった。授業で使う図画のお手本もあった。多分それは戦前に発行されたものだった。私は夢中になって眺め新しい世界が開けたような気がした。

小学校五年生のとき水彩絵の具を買ってもらった。それまでクレヨンしか使わなかったのも嬉しく鶴岡公園の桜と柳を描いた。当時の朝陽第一小学校は公園のすぐ近くにあった。担任の先生は「なまいろ」を使つてはいけないと教えてくれたので緑に何を混ぜていろいろな草木の色に近づけるか苦心した。今もこのことは頭のどこかに残っている。子どものころの経験は大切だとつくづく思う。

友達や姉妹とお絵かき遊びもよくした。リカちゃん人形もなかった時代だからいろいろなキャラクターをノートに描いてお話を作っていくのが楽しかった。着てみたい洋服も絵の中では自由に描くことができた。中学生になると世の中も少し豊かになってきた。鶴岡第一中学校は周りが田んぼできれいな小川が流れていた。美術の時間は校外で写生ということも多く、これ幸いとサボっている人もいたが私はそこそこまじめに描いて水彩画もそれなりに上達した。高校では音楽、

美術、書道のいずれかを選択することになり音楽を選択した。歌うのは楽しかったが、ピアノが弾けないし練習することも出来ない。単位が取れなくなると困るので二年生から美術に切り替えた。当時としては珍しく油絵を描いている友達がいづらやましかつた。重厚な人物画が印象的でいつか自分も描きたいと思った。

この希望が叶うのは五十歳になろうとする頃であった。県立鶴岡養護学校の同好会で息子のような年代の先生から手ほどきしてもらい自己流で描き続けている。人物を描くのが一番好きなのは子どものころから変つていないのかもしれない。退職してからNHKの故小松章三さんのデッサン講座に通い、いろいろな年齢、職種の方々といっしょに勉強するのが楽しかった。義母の介護の間、絵を描くのは中断し、その後再開して白叢社の春、夏の展覧会にも出品している。年をとるのは止められないから五十号の油絵などはいつまで描けるか分からない。もう一度きちんと水彩画を学びなおそうと小グループで近所の方に指導して頂いている。中学、高校の頃は違う水彩画の世界が広がって楽しみが増えた。もう少し絵を楽しむ時間が延びるかもしれない。

今一番心に残っている絵は、東山魁夷の「道」である。青々とした草原を*「一筋の道がゆるやかに登ってゆき、その頂点で視界から消えている。遠くの丘にその続きと思われる一線がほのかに見える。」のである。

*四季めぐりあい・夏 東山魁夷(画)文 講談社 2008



施設利用補助事業



元気回復と健康増進を図ることを目的に、施設利用補助事業を実施しております。



補助対象者 特別加入者

補助額 1泊につき2,000円(連泊の場合は2泊を限度に補助)

※年に何度でも利用することができますが、日帰り等の宿泊を伴わない場合には利用できません。

申請方法 宿泊施設に予約後、**宿泊日の1か月前から3日前(土・日・祝日及び年末年始休業期間を除く)まで**に下記の事項を明記のうえ、互助会へ申請を行ってください。申請は、電話、はがき、FAX及びホームページから申請することができます。申請を受理後、ご自宅へ施設利用補助券を送付します。

①特別加入者番号 ②氏名 ③宿泊施設名 ④宿泊月日

※グループ代表者による一括申請の場合も、各利用者の特別加入者番号を必ず明記のうえ申請をお願いします。

No.	宿泊施設名	住所	電話番号	No.	宿泊施設名	住所	電話番号
①	山形県職員会館あこや会館	山形市松波2-8-1	023-642-1358	⑭	川西町浴センターまどか	東置賜郡川西町上小松5095-36	0238-42-4126
②	KKR蔵王保養所白銀荘	山形市蔵王温泉904-8	023-694-9187	⑮	りふれ	西置賜郡小国町五味沢513	0238-67-2011
③	国民宿舍竜山荘	山形市蔵王温泉938-4	023-694-9457	⑯	国民宿舍飯豊梅花皮荘	西置賜郡小国町小玉川564-1	0238-64-2111
④	パラシオもがみ	天童市鎌田2-1-17	023-654-0906	⑰	パレス松風	西置賜郡白鷹町十王5687-8	0238-85-1001
⑤	ひまわり温泉 ゆ・ら・ら	東村山郡中山町いずみ1	023-662-5780	⑱	ホテルフォレストいいで	西置賜郡飯豊町須郷421-1	0238-78-0010
⑥	ひなの宿	西村山郡河北町谷地下野269	0237-85-0789	⑲	コテージ村木湖里館	西置賜郡飯豊町須郷421-1	0238-78-0010
⑦	Asahi自然観	西村山郡朝日町白倉745-1	0237-83-7111	⑳	白川温泉白川荘	西置賜郡飯豊町数馬218-1	0238-77-2124
⑧	クアハウス基点	村山市基点1034-7	0237-56-3351	㉑	いいで添川温泉しらさぎ荘	西置賜郡飯豊町添川3020-5	0238-74-2161
⑨	くつろぎの宿花笠高原荘	尾花沢市鶴子1300-27	0237-28-2121	㉒	湯野浜温泉保養所うしお荘	鶴岡市湯野浜1-11-23	0235-75-2715
⑩	大石田温泉あつたまりランド深堀虹の館	北村山郡大石田町豊田884-1	0237-35-5353	㉓	田田の宿	東田川郡三川町横山堤172-1	0235-66-5300
⑪	シェーネスハイム金山	最上郡金山町有屋1400	0233-52-7761	㉔	湯の台温泉鳥海山荘	酒田市草津字湯ノ台66-1	0234-61-1727
⑫	まむろ川温泉梅里苑	最上郡真室川町平岡894-2	0233-62-2373	㉕	眺海の森さんさん	酒田市土洲大平1-59	0234-62-2633
⑬	赤湯温泉保養所むつみ荘	南陽市赤湯233-1	0238-43-3035	㉖	遊楽里	飽海郡遊佐町吹浦西浜2-76	0234-77-3711

法律相談事業



困った事がおきたら、ひとりで悩まず相談を…!!

日常生活を営む上で発生する諸問題、諸事件(離婚・財産相続・破産・民事再生事件・刑事事件・民事事件・賠償責任事件等)に対処し、快適かつ安定した生活をおくっていただくために行っている事業です。

事業内容 互助会と顧問契約した弁護士に、特別加入者が上記法律上の諸問題について相談するときの相談料(通常30分で5,000円)を無料とします。

契約弁護士 弁護士 **伊藤三之先生**

伊藤三之法律事務所 〒990-0057 山形市宮町五丁目12番21号

TEL:023-633-7860 FAX:023-633-7160

受付時間9:00~18:00(月~金)

相談方法

伊藤三之法律事務所に**直接電話、または事務所に伺って(事前予約要)**相談をしてください。その際、本会会員である旨を申し出てください。本会へ事前に連絡をする必要はありません。

なお、本事業は、**法律相談に係る費用を本会が負担するもの**で、相談後に伊藤弁護士に弁護を委任した場合に発生する着手金、報酬金、訴訟実費等については、相談者本人の負担となります。詳細は伊藤弁護士にご相談ください。もちろん、秘密は厳守されます。

健康増進事業

スキーの集い

白銀の蔵王でスキーを楽しんでみませんか？
上達を目指すもよし。楽しくゆっくり滑るもよし。
皆様の多数のご参加をお待ちしています！

開催日 2月19日(火)～21日(木)

宿泊場所 「ヴァルトベルク」
山形市蔵王温泉清水坂889-1 ☎023-694-9300

参加費 特別加入者 16,000円 家族 23,000円
※リフト代金及び昼食代金は含まれません。
※2名1室希望の場合は上記料金に1泊2,160円が加算されます。

募集人員 45名(最少催行人員20名)

申込方法 下記申込書により郵送またはFAXでお申込みください。(HP申込不可) 申込みが募集人員を上回った場合はこれまでの参加履歴等を考慮し、特別加入者を優先とした選考となりますのでご了承ください。

申込締切日 12月20日(木) 必着 ※1月上旬に決定通知を送付します。

コース ご希望のコースをお選びいただき、下記申込書にご記入ください。
安全管理上、開催日当日にコースごとに滑って班分けを行います。
A：レベルUPコース→さらなるスキー技術の向上を目指したい方におすすめ！
(インストラクターが講習を行います。)
B：ゆったりコース→仲間と楽しくゆったり滑りたい方におすすめ！
(安全管理上インストラクターが同行し、グレンデをご案内します。)

部屋割 4名～5名の相部屋となります。同室希望の方がいる場合、2名1室希望の場合は下記申込書にご記入ください。2名1室希望については、申込状況によっては手配できない場合がありますので、予めご了承ください。

送迎 蔵王温泉バス停まで送迎します。
利用される方は下記申込書にご記入ください。

2泊3日 日程		
1日目	10:00～13:00	受付
	13:30～16:00	開講式、班分け、講習
	18:00～20:00	懇親会
2日目	7:30～ 8:30	朝食
	9:30～15:30	講習(昼食各班ごと)
	18:00～20:00	懇親会
3日目	7:30～ 8:30	朝食
	9:30～11:30	講習



キ リ ト リ

スキーの集い参加申込書

特別加入者番号・氏名	住 所	コース	送迎利用	部屋割
特別加入者番号 (本人・家族) 氏名 昭和 年 月 日生(男・女)	TEL ()	(A) (B)	(有) (無)	2名1室希望 同室希望者
特別加入者番号 (本人・家族) 氏名 昭和 年 月 日生(男・女)	TEL ()	(A) (B)	(有) (無)	

※健康増進事業を運営するにあたり、個人情報を同事業関係者に提供する場合があります。申込書の提出があった時点で同申込書に記載の範囲内で提供の同意があったものとさせていただきます。

健康増進事業 スポーツ観戦補助事業

パスラボ山形ワイヴァンズ及びプレステージ・インターナショナルアランマーレの観戦チケット代金の補助を行います。この機会にご家族やご友人で山形県のプロスポーツを応援してみませんか？

自己負担額 **パスラボ 1,000円/枚** (通常団体価格 2,300円)
アランマーレ 1,000円/枚 (前売り価格 2,000円)

募集枚数 各試合 30枚

申込方法 下記申込書により郵送またはFAXでお申込みください。(HP申込可)
 特別加入者ひとりにつき、パスラボ及びアランマーレそれぞれ2枚までのお申込みとなります。申込みが募集枚数を上回った場合は、これまでの利用状況等を考慮した選考となりますのでご了承ください。



	パスラボ山形ワイヴァンズ バスケットボール		プレステージ・インターナショナルアランマーレ バレーボール	
開催日	12月16日(日) 14:00開始	1月6日(日) 14:00開始	1月20日(日) 14:00開始	2月2日(土) 13:00開始
会場	山形県総合運動公園 総合体育館 アリーナ(1階自由席)		山形県総合運動公園 総合体育館(2階自由席)	酒田市国体記念体育館 (2階自由席)
対戦	VS 八王子ビートルズ	VS 青森ワッツ	VS J A ぎふ	VS 柏エンゼルクロス
申込締切	11月20日(火)必着 ※12月上旬に決定通知(チケット等)を送付します。		12月20日(木)必着 ※1月上旬に決定通知(チケット等)を送付します。	

※チケット手配の関係上、申込締切日以後の申込取消はできかねますので、予めご了承くださいようお願いします。
 ※アランマーレの2月2日(土)の日程は、第2試合(15:00～プレス浜松VSTヨタ自動車ヴァルキューレ)も観戦することが可能です。
 1月20日(日)の日程は、第2試合はありません。
 ※アランマーレの試合の際には会場で様々なイベント(飲食含む)を開催予定です。詳細については株式会社プレステージ・インターナショナルアランマーレ事業部(TEL0234-41-0724)までお問合せください。

キ リ ト リ

スポーツ観戦補助事業申込書

特別加入者番号	氏 名	TEL	()
試 合	申込枚数	試 合	申込枚数
パスラボ(12/16)	1枚 2枚	アランマーレ(1/20)	1枚 2枚
パスラボ(1/6)	1枚 2枚	アランマーレ(2/2)	1枚 2枚

※健康増進事業を運営するにあたり、個人情報同事業関係者に提供する場合があります。申込書の提出があった時点で同申込書に記載の範囲内で提供の同意があったものとさせていただきます。

健康増進事業

芸術鑑賞補助事業

山形交響楽団の定期演奏会及びユアタウンコンサートのチケット代金の補助を行います。この機会に音楽の素晴らしさ、そしてオーケストラの演奏を体感してみませんか？

自己負担額 **山形・鶴岡公演** 2,500円/枚 (正規チケット代金4,700円)
南陽公演 1,000円/枚 (正規チケット代金2,000円)

募集枚数 合計220枚 (山形公演100枚 鶴岡・南陽公演 各60枚)

申込方法 下記申込書により郵送またはFAXでお申込みください (HP申込可)。特別加入者ひとりにつき2枚までのお申込みとなります。申込みが募集枚数を上回った場合は、これまでの利用状況等を考慮した選考となりますのでご了承ください。

申込締切 **12月20日(木) 必着** ※1月上旬に決定通知(チケット等)を送付します。



定期演奏会 第275回 山形公演

3月10日(日) 15:00開演 山形テルサホール(A席指定)

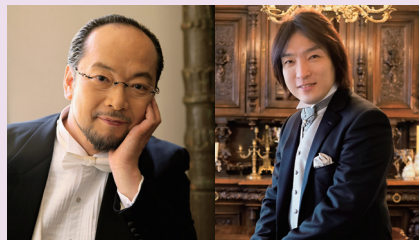
- モーツァルト:交響曲 二長調 K.51 (46a) “歌劇「愚か娘になりすまし」のための”
- ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番 八短調 作品18
- ブルックナー:序曲ト短調WAB98/詩篇 第112篇 WAB35 ほか
- 指揮/飯森範親 ピアノ/金子三勇士 ソプラノ/高橋絵理
合唱/山響アマデウスコア



庄内定期演奏会 第27回 鶴岡公演

3月26日(火) 19:00開演 荘銀タクト鶴岡大ホール(A席指定)

- ベートーヴェン:交響曲 第6番 へ長調「田園」作品68
- ヴェルディ:歌劇「椿姫」-第2幕“燃える心を”
- カプア:オー・ソレ・ミオ ほか
- 指揮/飯森範親 テノール/福井敬 ソプラノ/尾形志織
合唱/鶴岡北高校音楽部・鶴岡土曜会混声合唱団



ユアタウンコンサート2018 南陽公演

2月2日(土) 15:00開演 シェルターなんようホール(全席指定)

- モーツァルト:交響曲 二短調 K.320“セレナード第9番「ポストホルン」”
- ベートーヴェン:交響曲 第5番 八短調「運命」作品67
- ヴェルディ:歌劇「椿姫」-第3幕“さようなら、過ぎ去った日々よ” ほか
- 指揮/飯森範親 ソプラノ/中丸三千繪



※やむを得ない事情により出演者及び曲目等が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

キ リ ト リ

芸術鑑賞補助事業申込書

特別加入者番号	氏名	TEL	()
公演	申込枚数	公演	申込枚数
山形(3/10)	1枚 2枚	鶴岡(3/26)	1枚 2枚
		南陽(2/2)	1枚 2枚

※健康増進事業を運営するにあたり、個人情報同事業関係者に提供する場合があります。申込書の提出があった時点で同申込書に記載の範囲内で提供の同意があったものとさせていただきます。

療養補助金の請求はお済みですか？

退職互助部では、医療機関の窓口で支払った費用（保険適用分）の一部を補助する「療養補助金給付事業」を行っています。下表をご覧ください、**まだ請求がお済みでない方は、お早めにご請求ください。**

給付対象期間	60歳に達した翌月から75歳に達する月まで	
給付額	70歳未満	<p>自己負担額 - 2,000円 - 1,000円未満の端数</p> <p>↑</p> <p>1つの医療機関(入院・外来別)の1か月の保険適用窓口支払額の合計額</p>
	70歳以上	<p>自己負担額 - 2,000円 - 1,000円未満の端数</p> <p>↑</p> <p>1か月のすべての保険適用窓口支払額の合計額 ※医療機関や入院と外来等を分ける必要はありません。</p>

※特別加入者番号が0・1・2で始まる方の給付対象期間は資格取得月から70歳に達する月までとなります。(給付対象者は特別加入者本人及び配偶者)
 ※加入する健康保険より附加給付がある場合は差し引いて給付します。(国保・協会けんぽには附加給付はありません。)

- **請求方法** 療養補助金請求書に必要事項を記入のうえ、医療機関の領収書（原本）を添付して本会あて送付してください。請求書をお持ちでない方は下記問合せ先までご連絡ください。また、高額療養費に該当する場合は、加入する保険者へ申請し、高額療養費支給決定通知書（原本）も添付してください。
- **請求時効** 請求の時効は3年です。診療を受けた月から3年以内にご請求ください。(例：平成27年10月診療分→平成30年10月末日まで請求可能) なお、請求書は診療を受けた月の翌月以降にご提出ください。
- **送金日** 本会に請求書が到着した月の翌月末の送金となります。(例：10月本会到着→11月末送金)

※公立学校共済組合任意継続組合員(※)及び常勤再任用職員(※)の方は自動給付となっておりますので、療養補助金請求書の提出は必要ありません。診療を受けた月の概ね3カ月後の給付となります。(※被扶養者も含む)

■ **医療機関の領収書の返還が必要な方は療養補助金請求書の余白に「領収書返還希望」と記入のうえご提出ください。送金の際に給付決定通知書と併せてお返しします。**

■ **確定申告で医療費控除を受ける方は、平成30年12月までに受診した分について、平成31年1月末日までにご請求ください。**

医療費控除について (計算方法)

療養補助金として給付した金額は、「**保険金等で補てんされる金額**」に該当します。支払った医療費から療養補助金給付額を差し引いていただくことになります。

その年(1月~12月)に支払った医療費

保険金等で補てんされる金額

10万円又は所得金額の5%のどちらか少ない額

医療費控除額(最高200万円)

療養補助金給付額

特別加入者番号とは？

加入時に送付している「特別加入者証」に記載してある6桁の番号です。今回送付した封筒にも記載してあります。

990-8570
 山形市松波2-8-1
 ○○ ○○○ 様
 (特別加入者番号123456)

療養補助金に関するお問合せ
 フリーダイヤル(通話料無料)

0120-37-1765